健康教育

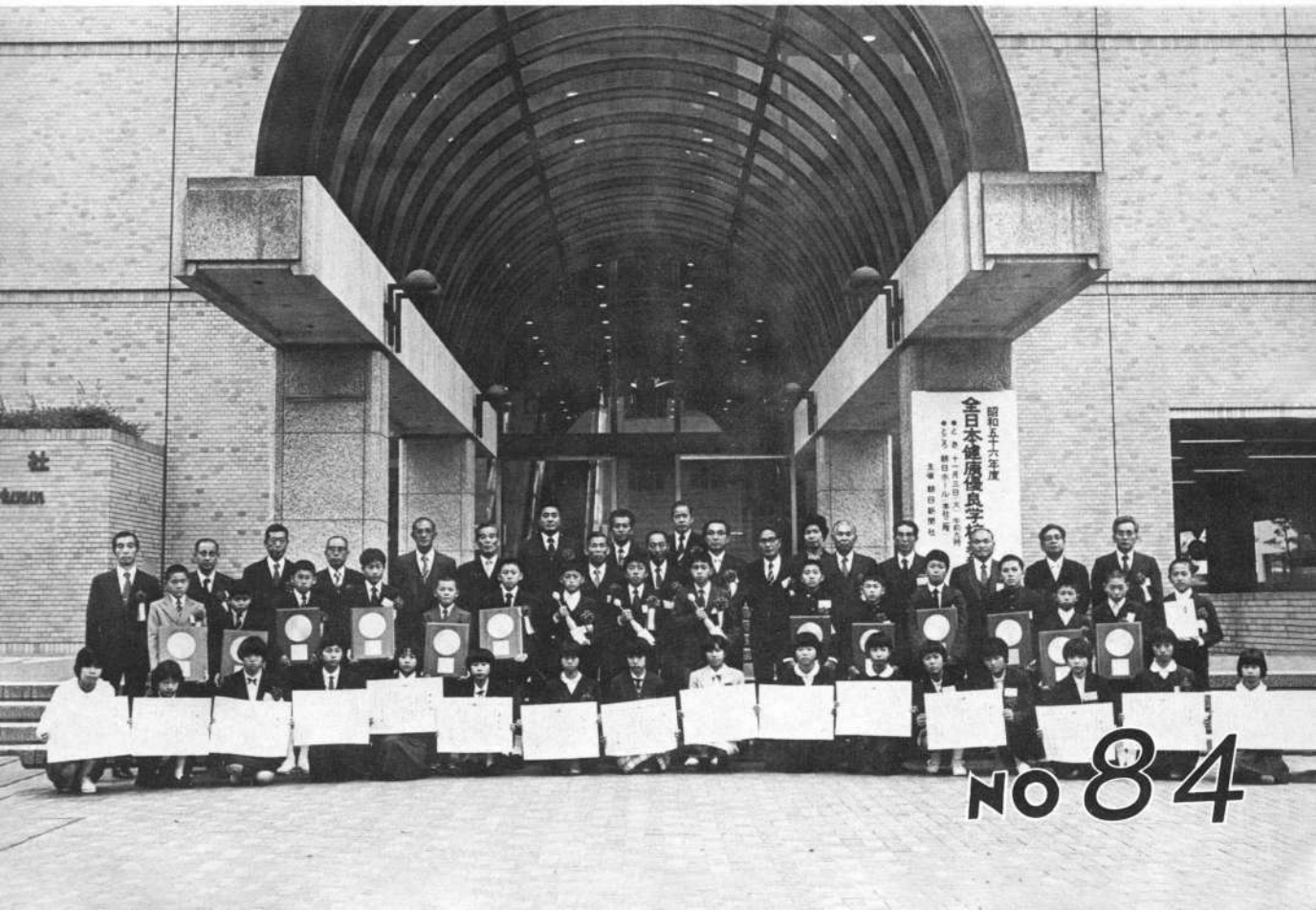
☆ ねばりづよく実践力のある子の育成……2
—健康教育を基盤とした東小教育—

☆ 豊かな心・たくましい体……7

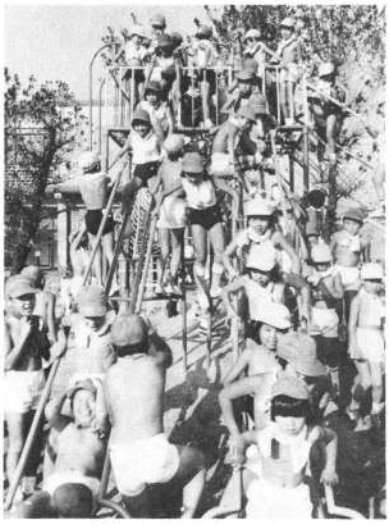
☆ 健康づくりに励む山峡の子……10
—未来地域社会学校の創造をめざして—

昭和56年度健康優良学校 全国特別優秀校・全国優秀校

〈朝日新聞社提供〉



NO 84



朝のおはようタイム

静岡県浜松市立東小学校

校長　山口惣一郎

ねばりづよく実践力のある子の育成

——健康教育を基盤とした東小教育——

1　はじめに

どんな立派な計画があっても、実践のないところから実りある成果は生まれない。

健康教育の基盤はまず実践によって、その成果が育ってくる。健康教育即教育優良という考え方で、日々の実践を積みあげている。

昭和56年度、東小学校が健康優良学校静岡県優秀校にえらばれるや、先輩校長は東小教育のために、いろは四十六文字をつかって、つぎのようないろは歌で激励してくれた。

練れ　　修めよ
知　徳　体
冬も汗しつ　　やりぬきて
伸びるは　　健康
歩並みを　　そろえ
輪に結べ　　今を

どんなことでもやり続ける永続性のこと、またこれをやりぬくための強い意思と実践、これこそ長い人生にとって必要なことであり、教育へのだいじな指向である。

2　健康教育の灯をもとめて12年目

昭和45年度、新任かけだし校長として山村小規模校に勤務したのが、健康優良学校との出合いであった。当時単身赴任していた教頭が、健康教育への情熱をそそぎ、成果をあげていた。豊岡小は県代表校3年目にして全国特選校の栄誉に浴した（昭和46年度）。この学校から郷里の出身母校伊佐見小学校（昭48年度）に転任し、健康教育に微力を尽くしたことが認められ、大規模校全国特選（昭52年度）の光栄ある経験をした。

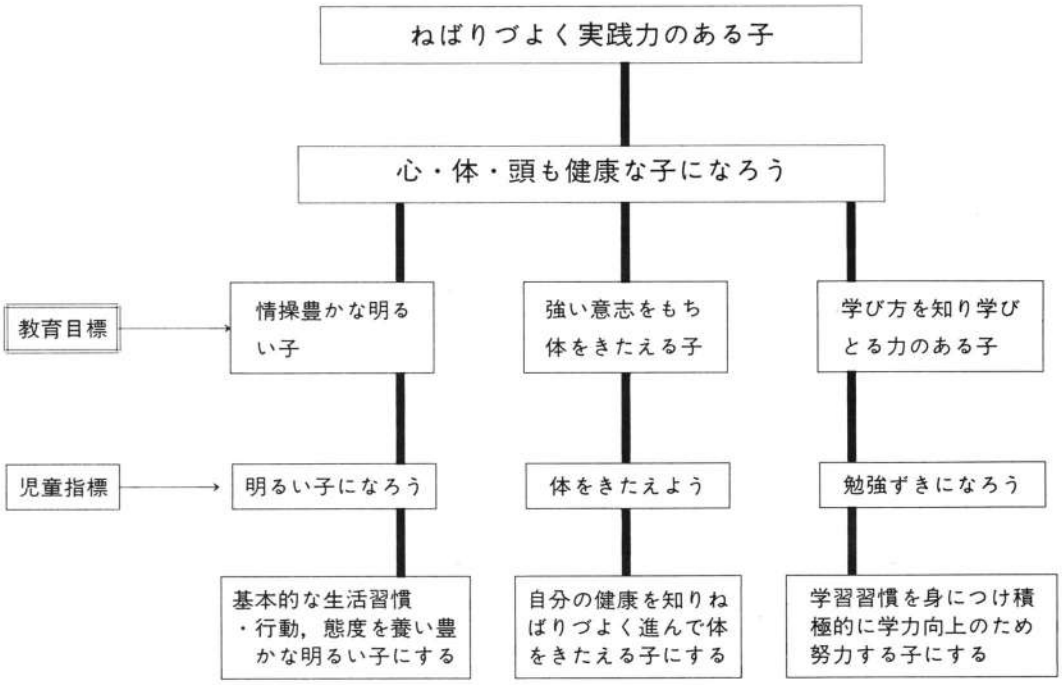
この健康優良学校との出合いと、全国審査などの貴重な経験が、健康教育を学校経営に重視するようになった。いまひ弱な子供をみるにつけ、心身ともに健康

な児童を育成することこそ、人間の最大の幸福であるという理念が、学校経営の根幹になっている。

昭和53年度、浜松の市街地の中心学校に赴任し、健康教育の灯をもとめ、4年目の経営に努力している。本年幸いにして全国特別優秀校の表彰をしていただいたが、努力の過程であり、本年を健康教育元年であるという考えで再出発をしたい。

教育基本法第一条の目的のなかに「自主的精神にみちた心身ともに健康な国民の育成」と述べている。また県市教育委員会でも、それぞれ人間性豊かな健康でたくましい児童生徒の育成を、学校教育の重点としている。心身ともに健康な児童の育成は、学校教育に与えられた必須の課題であり使命である。このような意味で健康教育は公立義務教育のなかで、あたりまえの教育と考えている。

3　教育目標



4　学校概要

(1)　地域及び児童

本校は浜松市の市街地中央部に位置し、東海道線浜松駅より徒歩15分のところにある。学区はほとんどが商店、商社、中小工場、住宅などが密集した商工業地域である。国道や私鉄が学区を貫通しており、交通量が多く、騒音公害や安全面に多くの問題をかかえている。

学校の創立は大正6年で、65年目の沿革をもっている。昭和20年に戦災にあい校舎が焼失し、昭和23年に現在地に校舎が復興した。戦後の木造校舎は、昭和54年12月に鉄筋校舎に改築落成し、教育環境も一変して、学校として理想的な姿に変ぼうしてきた。

児童は知識豊かで表現力に富み、国語算数など診断的学力面でもよい成績をとるが、やりとげる実践力にかける面がみられる。

児童の体力面、保健面など憂慮されていたが、日々の健康教育のとりくみによって、各面で向上がみられるようになった。

地域、父兄は伝統ある名門校としての意識をもち、学校教育に対して協力的な諸実践活動をしている。

(2)　教育課程

年間授業日数、学年別年間時数配当日表、月週行事予定等々掲載したいが紙数の関係で省略する。週日課表はつぎに掲載する。

上空300mからの

校舎全景

日課表

	時間	月	火	水	木	金	土	時間
8：00	10	職員打合せ	おはようタイム				職員打合せ	10
8：10	5	朝会					朝の会	10
8：15	10	児童朝会	職員打合せ				6	45
8：25	5		朝の会					
8：30	4.5	1	2	3	4	5		10
9：15	10						12	45
9：25	4.5	7	8	9	10	11		10
10：10	10						18	4.5
10：20	4.5	13	14	15	16	17		5
11：05	10						½学指／ポプラ	2.0
11：15	4.5	19	20	21	22	23		5
12：00	4.5	給食（はみがき）					帰りの会	10
12：45	3.5	昼休み						10
13：20	5						集団下校	10
13：25	15	ハッスルタイム	音楽集会タイム	ハッスルタイム	児童集会	ハッスルタイム		
13：40	10	スッキリタイム	終	スッキリタイム	動	スッキリタイム		
13：50	10	清		掃				
14：00	10							
14：10	4.5	24	25	A	26 学級会（低学年）	27		
14：55	10	帰りの会						
15：05	4.5	学年会 運営委	29 クラブ	研修 職員会議	28 学級会（高学年）	B		
15：50			研推委		自主研修	生活当番反省		

予鈴

○1単位45分：29時間

○A（いっぱい活動）
- 行事関係
- 学年学級裁量
- 個別指導

○B（児童活動）
- 委員会活動2回
- 代表委員会
- 計画委員会

○▨は隔週実施
- ½学指，ポプラの子
- 朝食，児童集会

○体力づくり
- あはようタイム　10分
- ハッスルタイム　15分
- 雨入時はドリルタイムとする。

○自主運動
- 火～金の7：50～8：00

5　教育実践活動

(1)　おはようタイム

始業前の７時50分から８時10分までをおはようタイムと名付け、自主運動遊具利用と縄とびを季節によって交替して実施、なお乾布まさつと、目標をきめてのマラソンは年間を通して、はげんでいる。

おはようタイムの全校マラソン

(2)　朝の会、健康観察

一日の出発としてひとりひとりの健康状態を知り、生活のめあてなどを話し合って有意義な一日の活動ができるようにしている。観察板は児童各自が自分でチェックし、さらにこの集計を養護教諭がまとめて全体の観察板に記入している。

(3)　ハッスルタイムとスッキリタイム

日課表のように時間をとり、ハッスルタイムは全校運動として、棒体操、縄とび、リング体操、行進など季節によって組み、運動ずきの子に育てている。縄とびは21種目に分け、各学期に一回、縄とび認定週間を設け挑戦している。技術も高度になり参観の先生方が感心している。

ハッスルタイムの棒体操

縄とび運動

スッキリタイムは、ハッスルタイム後視力0,9以下の子供を集め、講堂壁のランドルト氏環を凝視させ遠望訓練をしている。またさわやかタイムとなづけた、う歯予防のための給食後の歯みがきもやっている。

(4)　心の健康を育てるいっぱい活動

情操豊かな明るい子供を育てるために花いっぱい、夢いっぱい、歌いっぱい、絵いっぱいの活動を年間行事に位置づけている。週行事の日課に位置づけた音楽集会は、歌いっぱい委員会の企画、司会によって、今月の歌、季節の歌、学級の歌の発表などを合唱奏する。伴奏や指揮も児童が行ったり、ときにはクラブや部の器楽部やトランペット部が賛助伴奏や演奏をしている。花いっぱいの活動もゆとりの時間を利用してのメイン花壇、学級花壇の管理をする。メイン花壇は春秋のフラワーボードコンクールに参加し、努力賞や奨励賞をいただけるようになってきた。

歌いっぱいの音楽集会

夢いっぱい、絵いっぱいの活動は年間行事に位置づけ、学校生活での楽しさを味わせ、心豊かな子を念じている。

花いっぱいの学校花壇

(5) 父兄と手を結んだ学校保健委員会
家庭教育講座

教育は学校だけの一方的なものでは成果は期待できない。学校保健委員会、家庭教育講座をそれぞれ年3回開催し、学校、親子が手を結んだ教育実践にとりくんでいる。一年生の親を対象にした家庭教育講座では、子どもの生活、健康面勉強のことなどに視点をあて、講義、グループ討議、発表などをしているが好評である。

1年生父兄家庭教育講座

6 おわりに

昭和56年度健康優良学校全国特別優秀校の栄誉に輝いたので、この成果を本年7月9日全国を対象にした公開発表会を開催する。全国の方々からきびしいご指導を期待している。

表彰を受ける

全国特別優秀校

〈朝日新聞社提供〉

富山県高岡市立戸出西部小学校

静岡県浜松市立東小学校

神奈川県津久井郡藤野町立佐野川小学校

校舎全景

富山県高岡市立戸出西部小学校

校長　飯田　弘

豊かな心・たくましい体

1　はじめに

明治6年に創立された是戸小学校、醍醐小学校の両校が、昭和36年に戸出西部小学校として発足した。以来旧戸出町の一部分、新しい大規模な住宅団地と校下の様子が変化し、純農村と商業地と住宅地の三様をもった学校となりマンモス化して来た。

このような学校に一本の筋を通し、全校の児童・職員・校下民が挙げて達成しようとするために、たくましい体力と自主自律の気風にあふれた、心身とも健康で調和のとれた戸出っ子の育成を図るため「豊かな心・たくましい体」をねらって健康教育を推進してきた。

2　教育目標

自主性・創造性に富み、情操豊かな、心身ともに健やかな子どもの育成。

(1)　進んで学び　くふうする子ども
……よく考える子……

(2)　心が豊かで美しいものにあこがれる子ども
……ゆたかな子……

(3)　心もからだも健康で実践力のある子ども
……たくましい子……

(4)　みんなとなかよく協力しあう子ども
……なかよしの子……

以上四点の学校教育目標を達成するために、次にかかげる学校の教育方針がある。

職員の和により、明るい学校、楽しい学校、美しい学校をつくり、心身ともにすこやかな子どもの育成に努める。

(1)　一人ひとりの子どもに応じた指導
- 指導力の向上と教材の精選
- 学び方の学習
- 教材教具の効果的な活用
- 基礎的基本的な事項の定着

(2)　強じんな体力と気力つくり
- 体を通した学習
- 自主的な体力、気力つくり
- うるおいのある学習環境つくり

(3)　ゆとりあるしかも充実した学校つくり
- 基本的な生活習慣の育成
- 学習指導の効率化
- 自主的活動の場の充実

3　本年度の重点目標

意欲的な追求力を養い、たくましい実践力のある子どもを育てるにはどうしたらよいか

(1)　目標設定の理由

社会の変動や高岡市の人口のドーナツ現象による児童数の増加、情報の多量化などで学校生活、家庭生活に新しい刺激を与えている。こうした刺激が児童の生活を大きく変化させ、思考の多様化をもたらせている。そこで、たくましい体力と自主自律の気迫にあふれた心身ともに健康で調和のとれた戸出っ子の育成を図るため、児童の実態に即した心身の健康つくりとその生活化をはかるよう努力したい。

(2)　研究主題

ゆたかな心とたくましいからだの子どもを育てるには、どうしたらよいか。

研究の推進にあたっては、ゆたかな心を育てることを中心に、ひとりひとりの子どもが育つように全教師が一体となり、全校的見地や、児童の実態にそくして研究を深め、学級経営の中に位置づけ実践されるようにする。

(3)　職員の研究組織

- 学年研修会
- 部会研修会
  - 保健安全部会
  - 情操部会
  - 体力つくり部会

楽しい集会

4　豊かな心

学校の楽しい雰囲気づくりをめざして、人と人との交わり、人と物とのかかわりの中から思いやりのある、情緒の安定した人間性豊かな子どもを育てる。

豊かな心
- 栽培を通して
- 集会を通して
- 日常生活の中から

(1)　朝の歌

学級の朝の会の始めに、全校一斉に毎月曲を選んで全校児童が歌を歌って一日を始める。教室によっては合唱、輪唱も取り入れている。

(2)　歌の会

毎月第一木曜日と第三木曜日に全員が集って講堂又はグランドで輪になり、或は集団となって歌う。全校児童が一体となり楽しくそして心を美しくをねらって行う。

音楽のつどい

(3)　栽培について

田園地帯であるので、休耕田を借りて全校児童が栽培して自然に親しむ。

1年　とうもろこし
2年　さつまいも
3年　さつまいも
4年　さつまいも
5年　じゃがいも・さつまいも
6年　大豆・とうもろこし

夫々の学年に応じて作業を行い、自分達の手で収穫をする。

収穫集会を開き、日記を発表したり、自分達の苦労をかんたんな劇にしたり、作物の栄養価とか作物

の歴史を発表したりして、とりいれの喜びと知り、食する集会を学年毎に開く。

5　たくましい体

体力の向上をめざし意欲的に運動する子どもをめざし、心身ともに健全な精神と体をつくるため、学校教育活動全体を通して組織的・計画的に実践をすすめる。

(1)　西部活動

●学年運動

例　1年　スキー山を利用しての走
　　2年　トラックを周回する
　　3年　鉄棒運動
　　4年　ボール運動
　　5年　縄とび運動
　　6年　ハードル走

上記の運動を毎月ローテーションを組んで火曜日、水曜日の西部活動時（13：05～13：25）に体力増強をねらって行う。

学年運動

(2)　ピカピカ運動

毎月第二木曜日、第四木曜日の西部活動時に、各自が雑布を持って、廊下など長い所を拭く。これは、腹筋力と背筋力、腕の力をきたえるために行う。

(3)　アスレチックの利用

ＰＴＡの協力を得て、簡易アスレチックを設置して西部活動時に利用する。

(4)　はだしの励行

西部活動時は全員ハダシで実施する。土に親しむことと神経の発達をうながす目的で行う。

(5)　眼の運動とノーテレビタイム

休憩時、西部活動時に、遠近を視るということで眼の運動を実施する。

ノーテレビタイムは、長時間テレビを見ないことを主にして、それの時間を家族との話し合いの時間としたり、読書の時間にすることによって、近視予防と心のゆとりを持たせる時間とする。

6　児童保健委員会

- 児童会
  - 代表委員会（各級代表）
  - 各種委員会
    - 保健委員会
    - 給食　〃
    - 運動　〃
    - 掲示　〃
    - 美化　〃
    - 放送　〃
    - 運営　〃
    - 集会　〃
  - 児童保健委員会

構成

運営委員、保健委員、各級保健係、関係委員会の代表、低学年は教師代表。

内容

各月の保健目標の設定と励行
各種の保健行事の計画・運営

児童保健委員会

7　家庭保健委員会

特別な組織的なものはないが、各家庭で保健について話し合う機会をもつ。

資料

学年だより（毎月発行）
保健だより（毎月発行）
給食だより（毎月発行）

積極的に各家庭で取組んでいる。一家あげて早朝マラソン、ラジオ体操、縄とびと、各々　自分の家のアイデアで体力つくりのさかんな校下となっている。

学校保健委員会で提唱された「明るい家庭」つくりもさかんになってきた。

保健について学級懇談会

8　今後の取り組み

●豊かな心

飼育・栽培によって自然に親しみ、生物を育てる喜びてる面を伸ばしていきたい。特に飼育に関しては今後特に検討していきたい。

美しい物にあこがれ、美しいものを作り出す心を育てるために、環境の整備が望まれる。

●たくましい体

西部活動を見なおして、機動的な、楽しくて体力つくりに役立つ運動の時間にしていきたい。

●地区の協力

「明るい家庭」つくりの推進と、校下の体育的行事に児童がより多く参加できるよう協力していきたい。

校舎全景

神奈川県津久井郡藤野町立佐野川小学校

校長　倉田　博

健康づくりに励む山峡の子

――未来地域社会学校の創造をめざして――

1　はじめに

健康づくりとは、新しい生活モデルの創造と新しい生活リズムの創造であると考え、広い視野にたって活動を進めてきた。本校が学校保健を学校経営の重点課題としてきたのは自然的・社会的条件を基底にしている。飲料水は、現在でも沢水である。老朽化した校舎から子どもたちを守るには、少年救急隊やＰＴＡ自衛救急隊も必要となった。衛生思想の欠如が、学校保健

委員会設立につながり、その普及活動を活発にした。道路の幅員は狭く、乗用車の増加に伴い、登下校の安全確保の対策に苦慮した。その結果として、少年交通指導隊が誕生、ＰＴＡの地区安全点検活動の強化へと進んだ。学校給食はなく、弁当給食の研究が三色栄養弁当づくりの成果を生んだ。

このように、環境を克服し更に僻地特有の表現力の充実を念願しながら、地域の人々や先任者の努力を引き継ぎ、発展させようと努めている。

2　学区の概要

本校は、神奈川県の最北端に位置し、西は山梨県、東は八王子市に山をへだてて接している。山林原野が75％を占め、戸数 251戸、1,115人の住民が生活している。十数年前に導入されたお茶の栽培が唯一の特色産業であるが、就業率は５％位で、兼業化の傾向が強く、父親は他地区へ、母親は近くの町工場で働く。しかし、長寿の村でありカギッ子はいない。

自然は昔の姿をとどめ、県花山ゆり、クマガイ草等が群生し、キマダラルリツバメの生息があり、野鳥のさえずりは、年間を通じて楽しめるところである。

健康教育は、最近組織活動が活発になり、佐野川健康づくり協議会が結成され、地域健康三響づくりを唱え、地域保健の推進役を果たしている。

3　学校づくりの基本構想と基本計画

経営とは、変化への挑戦であり、厳しさへの挑戦であり、理想への挑戦である。このような考え方にたち、本校では、学校の未来像に健康教育を基本構想とし、当面する学校課題と合わせ、基本計画を明示している。

(1)　学校づくりの基本構想

健康づくりに励む未来社会学校を創設する

- 健康づくりをみんなで進める健康学校
- 郷土の自然を守り育てる自然愛護学校
- 地域の文化を継承し発展させる地域文化学校
- 郷土の特産物を引き継ぎ育てる勤労生産学校
- お年寄りや障害者と共に歩む福祉活動学校
- 郷土の材料で作る喜びをわかち合う創作学校

(2)　学校経営の基本計画

ア、学校教育目標

○進んで学習し、深い思考力と判断力をもつ子ども

○個性をのばし、ゆたかな情操と創造力をもつ子ども

○強い意志と体で実践力をもつ子ども

イ、教育指標・経営方針（Ｐ14参照）

ウ、健康教育を進める指導構造

本校では保健教育を学校経営の重点課題にし実践を積み重ねてきた。一年間の学校経営は、「学校経営重点」と「月別重点課題」で重点化を図っている。そして、健康教育実践の場は学級にあると考え、学級経営案を重視し、ファイル化・月別重点記入式にして実践している。保健安全指導の充実を期すため、「学校安全実践計画」を月毎に検討し学級の実践に移している。

エ、学校経営と日課

朝30分と昼食後の40分、それに６校時が本校の特徴的な活動の時間帯である。（Ｐ15　日課表）

4　特徴的な活動

(1)　児童の研究活動

ア、「私の健康づくり」発表会

児童の身近な生活の中から課題を発見させ一定の期間をおいて開催する。年１回、児童保健委員会の企画と運営で実施されている。

私の健康づくり発表会

イ、自然観察発表会

郷土の自然保護、愛鳥活動等自然理解が目的。昭和55年にこの実績が認められ、文部大臣奨励賞を受賞した。

ウ、自由研究発表会

９月に開催する。主に夏休みの自由研究の発表会で、父母も参加して行われる。

自由研究発表会

(2) 学校・地域環境の美化・衛生化・安全化

ア、学校環境美化活動

洋風庭園・和風庭園の管理、一人一鉢運動、全校しば焼会等。落葉の処理と共にさつまいも焼きは楽しいひと時である。

イ、交通標識等のクリーン活動

交通標識の清掃、道路清掃、河川清掃等。

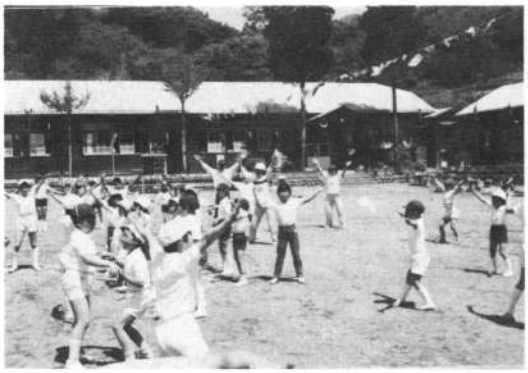
交通標識のクリーン活動

(3) 健康増進とスポーツ活動

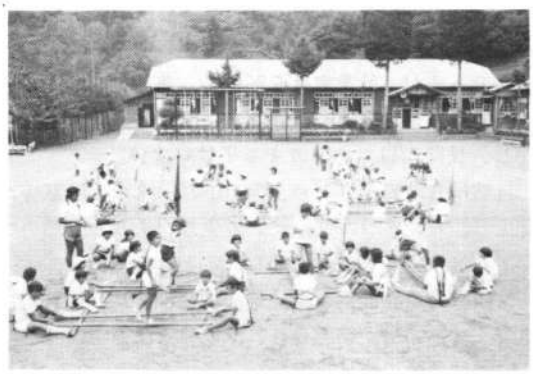
親子球技大会、新春マラソン大会、神奈川一周マラソン、業間体力づくり、ひびき合いの時間（土曜日）のスポーツ活動。

(4) 学級指導を中心にした保健記録活動

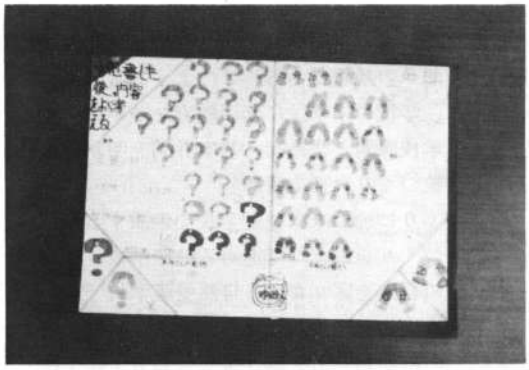
月別保健安全実践計画に基づいて学級指導を行う。児童の意識を高めるために、記録活動の場を設定し主体的に健康生活へのリズム化が図れるよう指導助言している。



佐野川ディスコ体操



業間体力づくりの一つ　バンブーダンス



記録活動表

(5) ＰＴＡ・地域の保健活動

わが家の健康デー、家族健康生活学習会、手づくりおやつデー、遊具製作会、ＰＴＡ救急隊訓練、祖父母学級、地区安全点検等、

ＰＴＡ救急隊訓練

お年寄りに学ぶ会

看板表示活動

私の農園活動

(6)　その他の活動

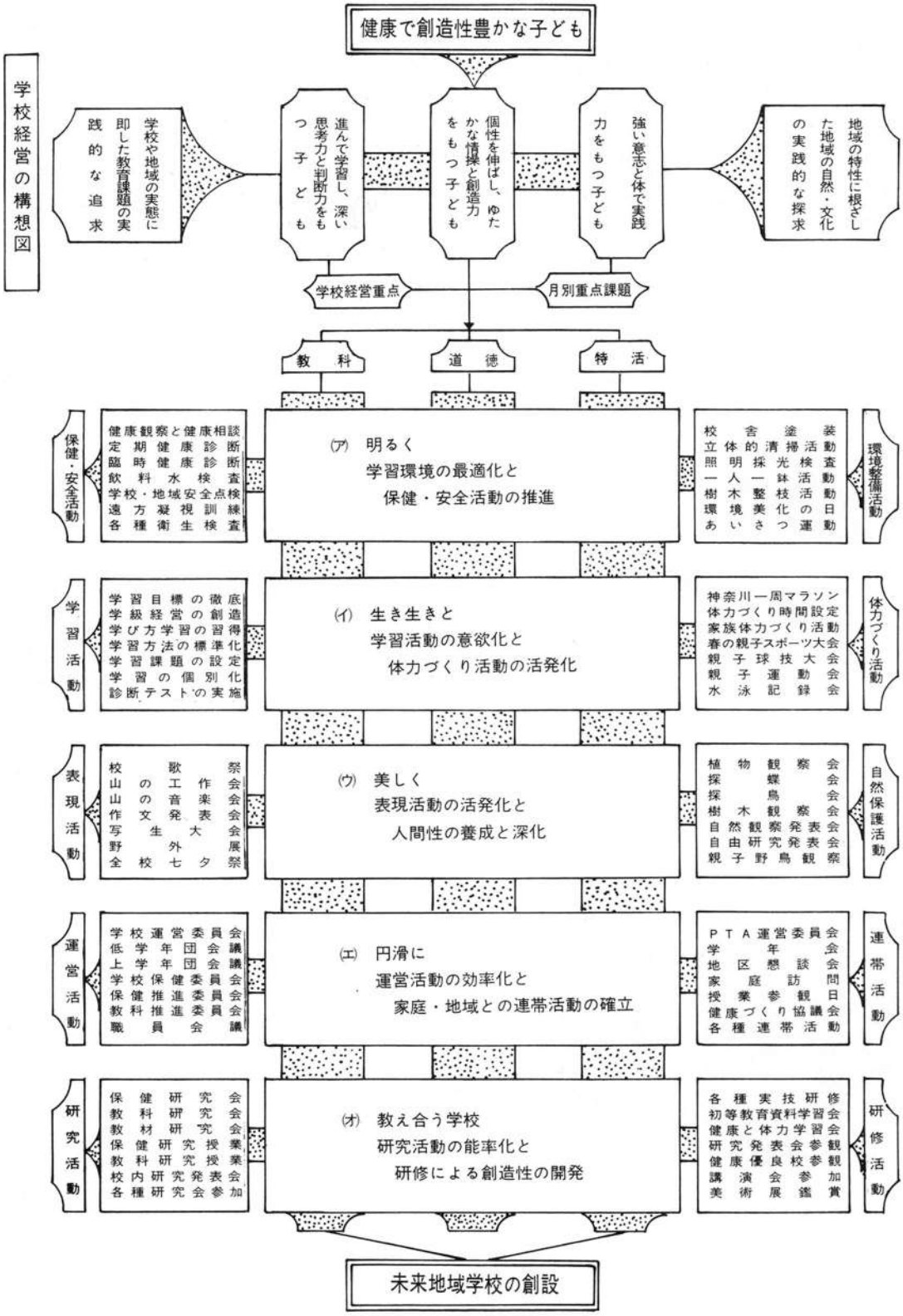
茶つみボランティア活動、全校七夕祭、校歌祭、全校たこあげ大会、少年救急隊訓練、お年寄りに学ぶ会、緑の教室学習会、山の音楽会、私の農園活動等々。

茶つみボランティア活動

5　おわりに

健康優良校日本一の栄誉に接し、地域ぐるみの永年にわたる実践の累積が評価されたものと喜びに耐えない。

健康教育は生涯教育であり、教育活動を網羅したものである。本校の健康教育は、学校とＰＴＡを含めた地域が一体となった健康づくりであるといえよう。将来の見通しをもった活動が、学校を基点にして伸びていったこと、特に、学校での実践が家庭で定着し難い欠陥を記録活動、集団活動を通して克服したことは意義があると考えている。私たちはいくつかの節づくりをしながら実践を続けてきたが、この受賞をまた大きな節として、新しい生活モデルと生活リズムの創造に向かって努力を積み重ねたいと考えている。


学校経営の構想図
健康で創造性豊かな子ども
学校や地域の実態に即した教育課題の実践的な追求
進んで学習し、深い思考力と判断力をもつ子ども
個性を伸ばし、ゆたかな情操と創造力をもつ子ども
強い意志と体で実践力をもつ子ども
地域の特性に根ざした地域の自然・文化の実践的な探求
学校経営重点
月別重点課題
教科
道徳
特活
保健・安全活動
健康観察と健康相談
定期健康診断
臨時健康診断
飲料水検査
学校・地域安全点検
遠方凝視訓練
各種衛生検査
(ア) 明るく
学習環境の最適化と
保健・安全活動の推進
校舎塗装
立体的清掃活動
照明採光検査
一人一鉢活動
樹木整枝活動
環境美化の日
あいさつ運動
環境整備活動
学習活動
学習目標の徹底
学級経営の創造
学び方学習の習得
学習方法の標準化
学習課題の設定
学習の個別化
診断テストの実施
(イ) 生き生きと
学習活動の意欲化と
体力づくり活動の活発化
神奈川一周マラソン
体力づくり時間設定
家族体力づくり活動
春の親子スポーツ大会
親子球技大会
親子運動会
水泳記録会
体力づくり活動
表現活動
校歌祭
山の工作会
山の音楽会
作文発表会
写生大会
野外展
全校七夕祭
(ウ) 美しく
表現活動の活発化と
人間性の養成と深化
植物観察会
採蝶会
採鳥会
樹木観察会
自然観察発表会
自由研究発表会
親子野鳥観察
自然保護活動
運営活動
学校運営委員会
低学年団会議
上学年団会議
学校保健委員会
保健推進委員会
教科推進委員会
職員会議
(エ) 円滑に
運営活動の効率化と
家庭・地域との連帯活動の確立
PTA運営委員会
学年会
地区懇談会
家庭訪問
授業参観日
健康づくり協議会
各種連帯活動
連帯活動
研究活動
保健研究会
教科研究会
教材研究会
保健研究授業
教科研究授業
校内研究発表会
各種研究会参加
(オ) 教え合う学校
研究活動の能率化と
研修による創造性の開発
各種実技研修
初等教育資料学習会
健康と体力学習会
研究発表会参観
健康優良校参観
講演会参加
美術展鑑賞
研修活動
未来地域学校の創設

日　課　表

佐野川小学校

時	曜	月	火	水	木	金	土
8：15 ～ 8：25	10	神奈川一周マラソン活動					
8：30 ～ 8：50	20	朝礼	朝の会 言語活動				ひびき合いの時間
8：50 ～ 9：35	45	1　校　時					
9：35 ～ 9：40	5	（学習準備）					
9：40 ～ 10：25	45	2　校　時					
10：25 ～ 10：35	10	（業間休み）					
10：35 ～ 11：20	45	3　校　時					
11：20 ～ 11：25	5	（学習準備）					11：20～11：30 帰りの会
11：25 ～ 12：10	45	4　校　時					
12：10 ～ 12：30	20	昼　食					11：30～11：45 清掃
12：30 ～ 12：50	20	歯みがき活動 （昼休み）					
12：50 ～ 1：05	15	清　掃					11：45～12：30 職員打合せ
1：05 ～ 1：25	20	学級時間	学級指導	表現活動	基礎学習	学級時間	
1：25 ～ 1：40	15	体力づくり活動					
1：40 ～ 1：45	5	生藤山凝視活動					
1：45 ～ 2：30	45	5　校　時					
2：30 ～ 3：15	45	創作活動	委員会 児童会	学級指導（隔週）	健康学習相談	クラブ活動	
3：15 ～ 3：25	10	帰りの会　帰りの会					
3：25 ～ 4：05	40	教材研究 父母面接	教材研究 厚生活動	職員会議 校内研究会	教材研究 学年団会議	教材研究 次週計画	
4：05 ～ 4：15	10	職員打合せ					

昭和56年度　健康優良学校

大規模の部（19学級以上）

全国特別優秀校	富山県高岡市立戸出西部小学校
全国優秀校	神奈川県横浜市立大曽根小学校
全国優秀校	静岡県浜松市立浅間小学校
全国優秀校	岐阜県瑞浪市立瑞浪小学校
全国優秀校	東京都世田谷区立給田小学校

中規模の部（7～18学級）

全国特別優秀校	静岡県浜松市立東小学校
全国優秀校	香川県綾歌郡綾南町立滝宮小学校
全国優秀校	島根県出雲市立神西小学校
全国優秀校	千葉県夷隅郡大多喜町立大多喜小学校
全国優秀校	青森県上北郡百石町立甲洋小学校

小規模の部（6学級以下）

全国特別優秀校	神奈川県津久井郡藤野町立佐野川小学校
全国優秀校	香川県小豆郡土庄町立豊島小学校
全国優秀校	山形県西置賜郡飯豊町立中津川小学校
全国優秀校	長野県北安曇郡美麻村立美麻小学校
全国優秀校	鹿児島県鹿児島市立改新小学校

育ちざかりの
ひと粒！

体力をつけ健康を保つ

歯・骨を丈夫に……

カワイ肝油ドロップ

河合製薬株式会社
東京都中野区新井2－51－8

健康教育第八十四号
昭和五十七年四月十日発行
編集発行人　清水常一
発行所　河合製薬株式会社学術部
東京都中野区新井二－五一－八
電話東京(三八五)三一一一(代)